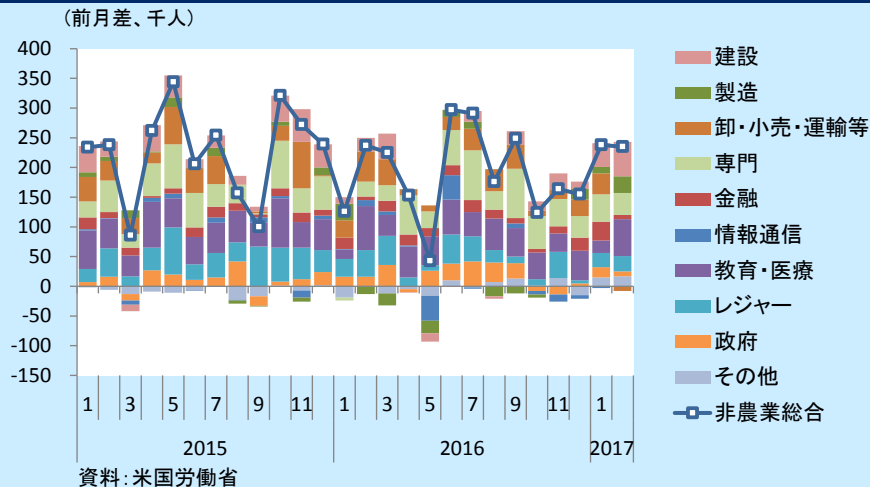


# 米国：雇用統計（2017年2月）

## 一雇用者数は2ヶ月連続で大幅に増加

*MRI Daily Economic Points*  
March 13, 2017

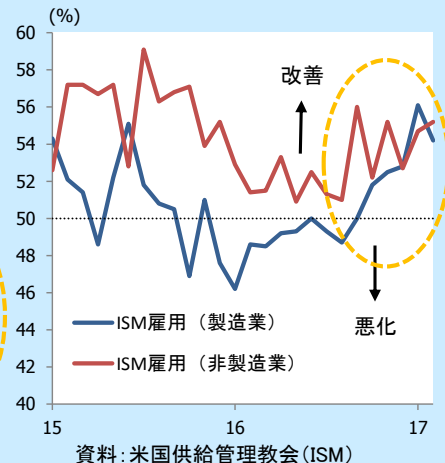
図表1 非農業部門雇用者数



図表2 新規失業給付受給者数



図表3 企業の雇用スタンス



### 評価ポイント

#### 今回の結果

- 17年2月の非農業部門雇用者数は、前月差+23.5万人増と、前月(同+23.8万人)に引き続き、2ヶ月連続で大幅に増加した。
- 内訳をみると、前月伸びが鈍った教育・医療(同+6.2万人)が大幅に増加。また、天候に恵まれたこともあり、建設業(同+5.8万人)は2007年3月以来の高い伸びとなった。製造業(同+2.8万人)が3ヶ月連続で拡大したほか、専門・ビジネスサービス(同+3.7万人)、レジャー(同+2.6万人)も高い伸びを維持した。一方、小売業(同▲2.6万人)は大幅な減少となった。
- 2月の失業率は4.7%と前月(4.8%)から小幅改善。労働参加率(63.0%)は前月(62.9%)から上昇。15年以降、労働参加率は高齢化の下押し圧力を受ける中でも持ち直してきている。労働市場の回復を受け、非労働力化していた者が職探しを始め、労働市場へ再び参入しつつあることが示唆される。
- 時間当たり平均賃金は前年比+2.8%と前月(同+2.6%)から上昇。15年後半以降、賃金上昇率は緩やかに高まっている。

#### 基調判断と今後の流れ

- 良好な雇用環境が続いている。17年入り後は、雇用者数の増加ペースが再び加速しつつある。
- 先行きも良好な雇用環境は続くと思込む。企業の求人数が高水準を維持する中、新規失業給付受給者数は減少傾向が持続(図表2)。企業の雇用スタンスを見ても、製造業は16年後半以降、急速に改善。非製造業も15年に比べればやや低いが、堅調な内需を背景に底堅く推移している(図表3)。新政権の財政拡張が実施されれば、短期的には、雇用環境の改善要因となる。
- ただし、①財政悪化懸念による長期金利の上昇や、②保護主義化による輸入物価の上昇により、内需に下押し圧力がかかる場合や、③ドル高が進行し、輸出を抑制する場合には、企業の雇用スタンスが慎重化し、雇用環境に悪影響が及ぶことも考えられる。